

みんなのひろば

秋の叙勲

元市議会議員の吉原武氏が、秋の叙勲で勲五等瑞宝章を受けられました。

吉原氏は、明治四十二年五月四日生まれて七十三歳。昭和十七年五月、日光町議会議員に当選以来十七年間、町・市の教育文化の向上、生活環境の整備、体育の振興など各般にわたり多大の貢献をしました。

教育文化の向上では、小中学校の建設に努力し、場所の選定、関係地主との折衝に率先して取り組み、その結果、昭和二十二年に日光中学校、二十七年に東中学校、二十九年に安良沢小学校が完成しました。また、戦後の混乱期の中



▲菊作りに励む日光小学校児童

で人心を刷新し、安定生活を営むにはスポーツ以外にないと、昭和九年に細尾スケートリンクの整備に全力を傾注し、この完成を待って昭和二十七年に第二十七回の冬季国体を誘致し成功させました。

今回の受賞は、永年にわたり地方自治の発展に献身的な情熱をさげた功績が高く評価されたものです。(久次良町八五番地)

叙

昭和五十七年九月二十八日に死去した大類正次郎氏に、このほど従六位の位記が贈られました。

大類氏は、昭和十七年五月に日光町議会議員に当選以来、十七年間にわたり町・市・県の地方自治に貢献されました。

位

昭和二十二年には、観光発展のため観光協会設立に努力し、発足と同時に協会に参画、誘客のために諸事業を推進しました。住みよい環境づくりにも身辺を傾注し、昭和二十五年には都市計画土地地区画整理事業に着手させ、さらに二十七年には、上水道建設を強力に推進しました。

また、昭和二十九年には日光町と小来川村との合併を実現させ、合併促進法の県下第一号として他市町村の合併促進に大きな影響を与えました。

昭和五十四年には、永年にわたり地方自治に貢献した功績が認められ、勲五等瑞宝章を受けています。

菊作り実習

日光小学校五年生の生徒たちが教材の中の「一人一鉢菊作り」をテーマに、毎年学校で菊作りを勉強しています。

この菊作りは、市内の菊花愛好者たちで結成している「日光菊寿会」(宮田庄吾会長、会員六十名)が、子供たちにも菊作りを楽しんでもらおうと、毎年五年生の生徒分の苗と肥料などを寄付し指導にあたっているもので、今年で六年目。

鉢植えから消毒、輪台作り、そして毎水をやるのが子供たちの

仕事。みんなで育てた菊の花を、教室や廊下などに展示し、美しい環境づくりを楽しんでいます。

もちつき

ひと足早いもちつきが、十一月十八日に所野保育所で行われました。このもちつきは、ボランティア組織の「晃慈会」(布施勇会長)が、日光保育所、所野保育所、清滝保育所、小来川保育園の園児を集めて毎年行っているもので、今年で九回目になります。

斎藤市長が二百六十人の園児の前でつき初めをした後、園児らは晃慈会のおじさんに手伝ってもらって、汗をかきながら真剣な顔つきで、つき上げました。そして、つき上がったもちをほお

▲保育園児のもちつき大会



善意銀行

十月中に日光市善意銀行に預託された方がたは次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝します。(敬称略)

(現金預託)

- ◎市内要援護者に 知野イネ(稲荷3)千円 ◎市内の恵まれない子に 植木善見(匠)二千円 ◎下野三楽園に 竹沢啓三(下鉢石)千円 ◎身体障害者に 親和会孔版社有志(清滝2)三千円、松永佳子(東京)五千円 ◎身体障害者友愛会に 匿名 四千元 ◎社会福祉に 日光中学校生徒会 一万九百四十二円 松本半左衛門(本町)三千元 松本紋四郎(東京)十万元 鈴木勇吾・手塚理一・大石尚 一万八千元 ◎老人福祉に 寺田良一(安川)六千元 ◎人権擁護啓発活動費に 匿名 五万円 (物品預託)
- ◎身体障害児に 鶴島アヤ(安川)おしめ二十枚
- (香典返し廃止による預託)
- ◎老人福祉に 北山光夫(中鉢石)五万円、高浜カツ(相生)十万円
- ◎社会福祉及び教育費に 川久保憲男(山内)十万円 ◎身体障害者友愛会に 柴田宜久(匠)十万円